

コメディカル雇用数増加に関する試算1 (特定機能病院と地域医療支援病院)

現在のコメディカル数

特定機能病院 7.0万人

地域医療支援病院 6.6万人

雇用数を2倍にするためには

$$600万円 \times 13.6万人 = 8,160億円$$

3年計画で2倍にする場合、初年度 2,720億円

(参考)

特定機能病院 81病院 計70,129床

(平成19年4月1日現在 <http://www.mhlw.go.jp/shingi/2007/05/dl/s0524-4b.pdf>)

地域医療支援病院 153病院 計65,411床

(平成19年3月30日現在 <http://www.mhlw.go.jp/shingi/2007/04/dl/s0423-9c.pdf>)

一般病院100床あたりコメディカル数 100.5人

(厚生労働省平成18年病院報告:職員総数113.1人-医師数12.6人=100.5人)

現在のコメディカル数

特定機能病院 70,129床x100.5人/100=7.0万人

地域医療支援病院 65,411床x100.5人/100=6.6万人

コメディカル雇用数増加に関する試算2 (400床以上の一般病院)

現在のコメディカル数

400床以上の一般病院 44.7万人

雇用数を2倍にするためには

$$600万円 \times 44.7万人 = 26,800億円$$

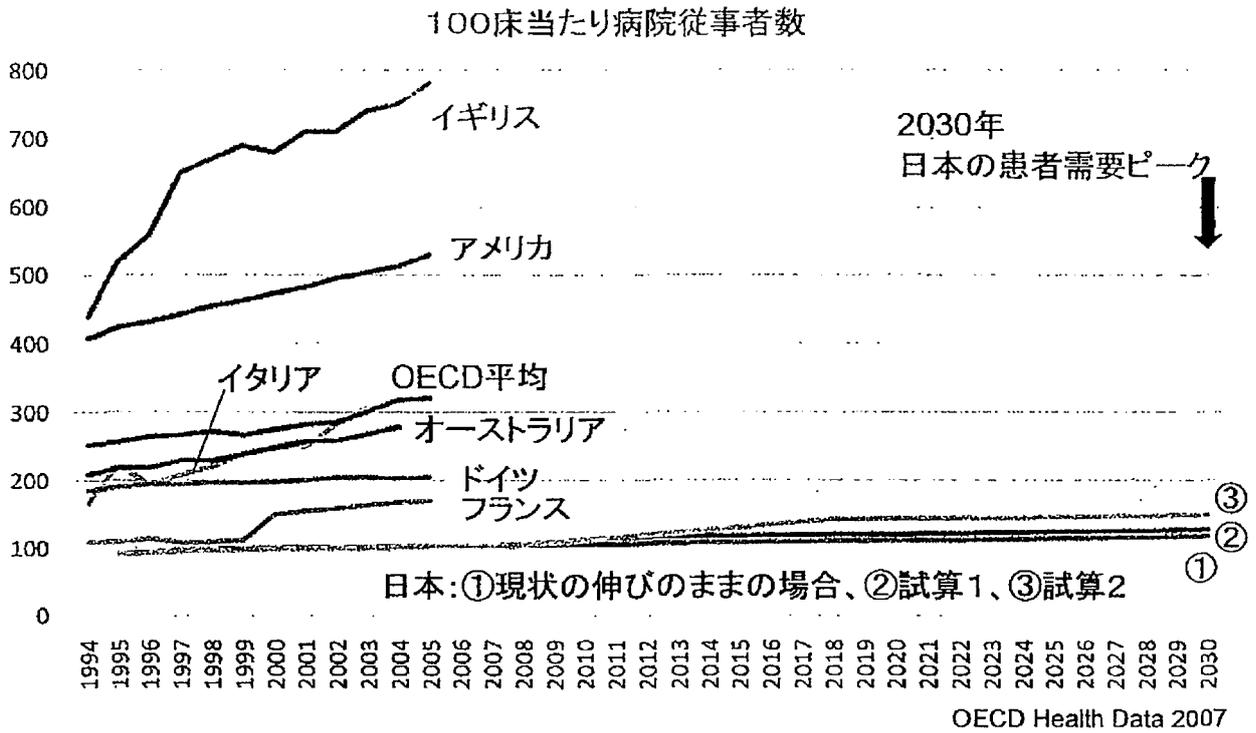
10年計画で2倍にする場合、初年度 2,680億円

(参考)

厚生労働省
平成18年
病院報告

	一般病院数	コメディカル数 (医師以外)	人件費(億円) (1人600万円とした場合)
総数	7886	1,376,896	82,614
100床以上	4453	1,152,488	69,149
200床以上	2134	825,951	49,557
300床以上	1316	641,247	38,475
400床以上	726	446,783	26,807
500床以上	435	319,179	19,151
600床以上	265	225,288	13,517
700床以上	151	150,652	9,039
800床以上	97	107,863	6,472
900床以上	66	78,995	4,740

コメディカル数の国際比較と将来推計



医師数の国際比較と将来推計

